

赤や緑、白の照明で照らされた世界遺産・座喜味城跡
=20日、読谷村座喜味



座喜味城跡 光で彩る

「村人口日本一」をPR

読谷

【読谷】来年1月1日、座喜味城跡公園で城に日本一人口の多い村になる読谷村は20日、村座喜味のある世界遺産には村観光協会が祝賀式

典とコンサートを開く。
現在1位の岩手県滝沢村が市に変わるため2位の読谷村が繰り上がる。読谷村の人口は10月末現在、4万6800人。日本一を機に伝統文化をPRしようと初めて企画した。

石嶺伝実村長は城主・護佐丸の衣装を着け点灯式に参加。松田平次村教
育長は「冬場の観光誘客にもつながる。美しい曲線を持つ座喜味城跡をぜひ見に来てほしい」と呼び掛けた。
友人と訪れた仲間さやかさん(34)は「寒かったけれど、照明が夜空に映えてきれいだった」と話した。点灯は3月13日まで。通常は午後6時から同9時まで。24日、31日、1月1日～3日は午前1時まで。